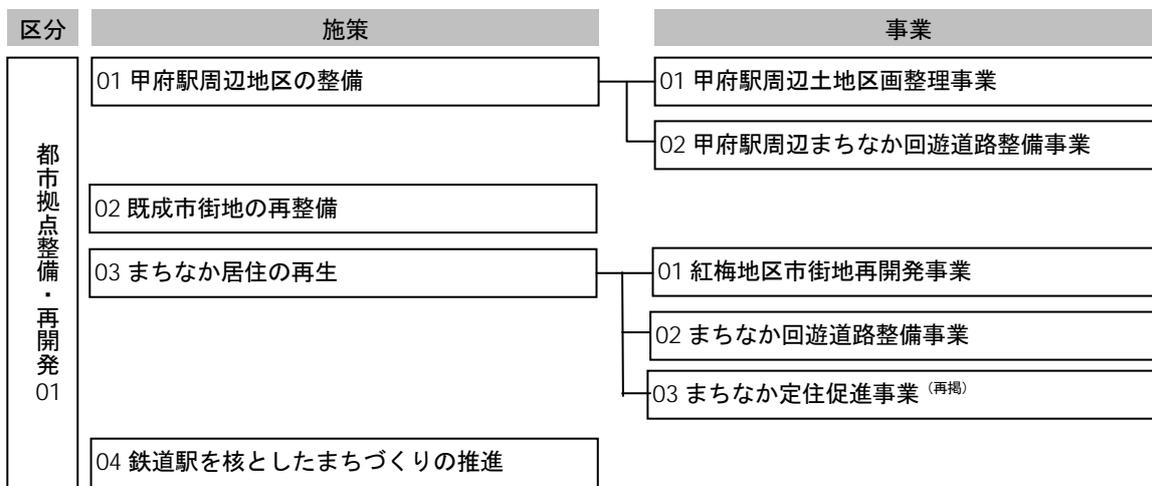


1 都市拠点整備・再開発

施策の基本的考え方

- 甲府駅周辺の大規模空閑地を活用し都市基盤の整備を充実し、新たな拠点施設の整備と企業立地の促進に努めます。
- 既成市街地において、住環境の改善及び安全なまちづくりの促進に努めます。
- 中心市街地の活性化と魅力あるまちづくりに努めます。
- 鉄道駅と連携した学園交流の拠点づくりに努めます。

施策・事業の体系



01 甲府駅周辺地区の整備

■甲府駅周辺土地区画整理事業 【事業No.05010101】	担当部課係名	都市建設部	甲府駅周辺土地区画整理課	ダイヤル	230-1029
			換地係・補償係・工事係		

事業概要

- 甲府駅周辺の鉄道跡地等の大規模空闲地を活用し、都市環境を整備すると共に、新たな都市拠点の形成を図るため、道路・公園等の公共施設の基盤整備を行う。

現況と課題

- 換地設計に基づく仮換地指定及び建物移転補償等地権者との合意形成
- JR 軌道下の横断部分について JR との構造協議

今後の事業展開

- 事業計画に基づき、平成 35 年度の事業完成に向け、事業の計画的・効率的な推進を図る。

成果指標	実績値	見込み値	目標値			目標値 (H22～24)
			平成 20 年度	平成 21 年度	平成 22 年度	
公共施設整備率 (%)	14	27	31	36	43	43
事業費 (千円)	当初予算額(千円)		計画額(千円)			計画額合計 (H22～24)
	平成 21 年度		平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度	
	2,523,446		1,568,538	1,325,921	1,504,199	

■甲府駅周辺まちなか回遊道路整備事業 【事業No.05010102】	担当部課係名	都市建設部	甲府駅周辺拠点整備課	ダイヤル	230-1029
			整備係・工事係		

事業概要

- 甲府駅周辺拠点整備事業により整備された甲府駅北口の拠点施設及び、平成 24 年度完成予定のシビックコア地区と甲府駅南口方面の拠点施設を結ぶ歩道等を整備し、中心市街地の回遊性を高めるとともに、住環境の向上や来街者のまち歩きの実便性向上を図る。

現況と課題

- 歩道整備予定地所有者との合意形成及び工程調整
- 用地買収、等価交換等の最終的な法的確認及び契約のスケジュール管理

今後の事業展開

- 都市再生整備計画に基づき、平成 25 年度の事業完成に向け着実な整備促進を図り、事業効果の早期実現を目指す。

成果指標	実績値	見込み値	目標値			目標値 (H22～24)
			平成 20 年度	平成 21 年度	平成 22 年度	
事業に対する進捗率 (%)	—	—	29.75	66.2	93.23	93.23
事業費 (千円)	当初予算額(千円)		計画額(千円)			計画額合計 (H22～24)
	平成 21 年度		平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度	
	—		57,093	161,200	195,780	

*のついた用語は用語解説をご参照ください。

03 まちなか居住の再生

■紅梅地区市街地再開発事業 【事業No.05010301】	担当部課係名	都市建設部	都市計画課	ダイヤル	237-5829
			開発指導係		

事業概要

- 老朽化した建物が密集する市街地において、細分化された宅地の統合、不燃化された共同建築物の建築及び公共施設の整備と有効なオープンスペースの確保を一体的・総合的に行い、安全で快適な都市環境を創造しようとするものである。

現況と課題

- 当初計画に従って平成22年8月中の工事完成を目指し、再開発組合と協議を行っていく。
- 昨年12月に㈱大京が住宅デベロッパーとして参加したことから、今後は円滑な住宅販売活動が期待される。また、商業テナントの入居については、進捗状況について再開発組合と協議を行っていく。

今後の事業展開

- 平成22年9月に県立宝石美術専門学校の開校及びマンションの入居開始、10月に商業グランドオープンが予定されている。

成果指標	実績値	見込み値	目標値			目標値 (H22～24)
			平成20年度	平成21年度	平成22年度	
事業に対する進捗率 (%)	43	72	100	—	—	100
事業費 (千円)	当初予算額(千円)		計画額(千円)			計画額合計 (H22～24)
	平成21年度		平成22年度	平成23年度	平成24年度	
	1,142,000		1,238,708	—	—	

■まちなか回遊道路整備事業 【事業No.05010302】	担当部課係名	都市建設部	道路河川課	ダイヤル	237-5843
			道路係		

事業概要

- 中心市街地活性化事業の一環として、歩行者空間の快適性を高め、中心市街地の回遊性を促進することを目的とした事業である。また、甲府市交通バリアフリー基本構想の実現に向け、高齢者や身体障害者など誰もが円滑に移動できる環境整備のため、特に歩道のバリアフリー化事業を推進する。

現況と課題

- 甲府市交通バリアフリー基本構想に示された特定事業に位置づけられており、また、紅梅地区市街地再開発事業区域の周辺道路であるため、この再開発事業の完成に合わせ、歩道のバリアフリー化を進める。また、再開発事業との関連の中で事業を進めていくため、事業の進捗状況や事業のイメージとの調整を図りながら事業を進めていく。

今後の事業展開

- 道路においても、歩道のバリアフリー化の推進が求められているなかで、中心市街地を安全・安心、快適に回遊できる事業であることから、今後も検討を行うなかで、計画的に事業を推進する。

成果指標	実績値	見込み値	目標値			目標値 (H22～24)
			平成20年度	平成21年度	平成22年度	
事業に対する進捗率 (%)	30	66	100	—	—	100
事業費 (千円)	当初予算額(千円)		計画額(千円)			計画額合計 (H22～24)
	平成21年度		平成22年度	平成23年度	平成24年度	
	27,140		48,900	—	—	

■まちなか定住促進事業 【事業No.05010303←No.03040101】再掲	担当部課係名	都市建設部	都市計画課 計画係	ダイヤルイン	237- 5814
--	--------	-------	--------------	--------	--------------

2 市街地の整備

施策の基本的考え方

- 計画的なまちづくりを住民と協働で推進します。
- 地区計画*制度を活用し、地域の特性を生かした住民によるまちづくりを推進するとともに、適切な土地利用を図る民間開発の誘導に努めます。
- 面的整備によるまちづくりの促進に努めます。

施策・事業の体系

区分	施策	事業
市街地の整備 02	01 計画的なまちづくりの推進	01 都市基本計画推進事業
	02 市街化進行地域の整備	
	03 新市街地の整備	

01 計画的なまちづくりの推進

■都市基本計画推進事業 【事業No.05020101】	担当部課係名 都市建設部	都市計画課	タイトル 237-5814
		計画係	

事業概要

- まちづくりに関して、基本計画の検討や策定、市民活動の支援や市民との協働によるまちづくりを推進する。
- 誰もが美しいと感じ、市民の誇りとなるような良好な景観形成を図るため、「甲府市景観形成基本計画*」及び「甲府市景観条例*」に基づき「景観計画*」を策定するとともに、景観法の諸制度を活用しながら市民協働による景観まちづくりを推進する。

現況と課題

- 本市の地域特性を活かす良好な景観形成には、市民の合意形成が必要である。また、景観計画における地区別景観形成基準づくりに向けて、景観モデル地区（4地区）を含めた先進地区に「景観まちづくり研究会」等の発会を促していく必要がある。

今後の事業展開

- 「甲府市景観形成基本計画」及び「甲府市景観条例」を踏まえ、良好な景観形成のルールづくりを行うため、市民協働のまちづくりを推進する。

成果指標	実績値	見込み値	目標値			目標値 (H22~24)
			平成20年度	平成21年度	平成22年度	
まちづくりに関する基本計画の策定(計画数)(件)	0	0	1	1	1	3
事業費 (千円)	当初予算額(千円)		計画額(千円)			計画額合計 (H22~24)
	平成21年度		平成22年度	平成23年度	平成24年度	
	5,419		4,903	2,450	2,000	

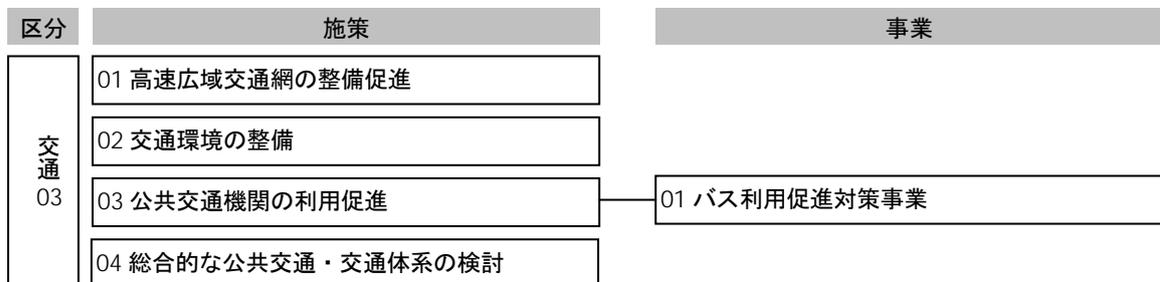
*のついた用語は用語解説をご参照ください。

3 交通

施策の基本的考え方

- 新たな国土軸*の形成による道路ネットワークの構築により、社会経済活動の変化に対応した地域活性化を図るため、高速交通網と地域高規格道路*の早期整備・促進に努めます。
- 市内中心部を通過する交通を排除することによる交通渋滞の解消を図るため、放射型道路と有機的に結ぶ環状道路の整備・促進に努めます。
- 在来鉄道及び路線バスの利便性を向上させるとともに、高齢者や障害者の日常の移動の手段として利用できる環境を整え、利用促進に努めます。
- 新時代に対応し、新たな交通システム*や既存の交通体系の連携改善により、新時代の交通体系を総合的に検討します。

施策・事業の体系



03 公共交通機関の利用促進

■バス利用促進対策事業 【事業No.05030301】	担当部課係名 市民生活部	消費生活センター	ダイヤル 237-5303
		交通安全係	

事業概要

- 地域の主要生活交通であるバス路線を維持・確保していく。

現況と課題

- 市内の路線バスは赤字幅が増大しているため、バス事業者の路線退出が懸念される。
- 代替バス路線においては、利用者の低迷から公費負担が高んでいる。沿線自治体やバス事業者との利用促進対策が課題である。

今後の事業展開

- 利用低迷が著しい路線については乗降調査などを実施し、必要性を検証・分析する中で、廃止も視野にバス事業者や沿線自治体と継続的に協議し改善策を講じるとともに、利用促進のためのPRに努めていく。また、民営化した生活交通バス路線については、バス事業者のノウハウを活用し潜在利用者を拡大する中、この地域の高齢化と地域再生を支援していきたい。

成果指標	実績値	見込み値	目標値			目標値 (H22~24)
			平成22年度	平成23年度	平成24年度	
補助路線及び代替バス路線 の延べ利用者数 (千人:路線全行程)	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	4,075
	4,175	4,100	4,075	4,075	4,075	
事業費 (千円)	当初予算額(千円)		計画額(千円)			計画額合計 (H22~24)
	平成21年度		平成22年度	平成23年度	平成24年度	
	94,697		88,690	90,220	91,796	

4 幹線道路

施策の基本的考え方

- 広域交通網の整備やそれと連携する地域の骨格となる道路網の整備に努めます。
- 災害時の避難路・都市の景観やすべての人に利用しやすい道づくりに配慮した計画的な道路整備に努めます。

施策・事業の体系

区分	施策	事業
幹線道路 04	01 広域・地域交通道路の整備	01 金塚西(1)線整備事業
		02 和戸町竜王線整備事業
	02 防災・景観・福祉に配慮した計画的なみちづくりの推進	01 都市計画道路整備検討事業

01 広域・地域交通道路の整備

■金塚西(1)線整備事業 【事業No.05040101】	担当部課係名	都市建設部	都市整備課	ダイヤル	223-7055
			工事係		

事業概要

- 本路線に隣接する千塚公園は、平成 18 年度に整備を完成したが、周辺には広幅員道路がなく交通障害が発生しているため、地域交通環境の改善を図ると共に、千塚公園の利便性を向上させるため本路線の早期整備を行う。
- 整備延長 L=470m、幅員 W=12.0m

現況と課題

- 平成 22 年度迄に用地取得と物件移転の完了を目指して交渉を行っているが、借地・借家や移転時期等で交渉が難航している箇所がある。

今後の事業展開

- 平成 24 年度の事業完成に向け、計画的に事業推進を図る。
・実施期間（平成 20 年度～平成 24 年度） 用地取得・整備工事

成果指標	実績値	見込み値	目標値			目標値 (H22～24)
			平成 20 年度	平成 21 年度	平成 22 年度	
路線整備率 (%)	—	0	6	50	100	100
事業費 (千円)	当初予算額(千円)		計画額(千円)			計画額合計 (H22～24)
	平成 21 年度		平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度	
	365,800		355,100	150,000	150,000	

■和戸町竜王線整備事業 【事業No.05040102】	担当部課係名	都市建設部	都市整備課	ダイヤル	223-7055
			工事係		

事業概要

- 中央四丁目工区は「第五次甲府市総合計画」や「甲府市都市計画マスタープラン」等の計画において、中心市街地の骨格を形成する「こうふ都心環状線」として、また、東西方向の放射型道路として位置付け、中心市街地の交通を円滑にすると共に、快適な歩行者ネットワークの形成や来街者の増加に寄与するものとして、早期整備が必要な路線としている。また、整備優先路線の中にも最優先で整備する路線（工区）となっており、平成 22 年度より詳細設計に入り、平成 29 年度の完成を目指す。

現況と課題

- 本工区を整備する手法として、街路事業（直買方式）を検討しているが、地元説明会において市の考え方に対する関係地権者の合意形成が課題である。

今後の事業展開

- 平成 22 年度 詳細設計、平成 23 年度 用地測量、平成 24 年度 家屋調査、平成 25 年度 用地取得
平成 26 年度 用地取得、平成 27 年度 用地取得及び工事、平成 28 年度 用地取得及び工事、
平成 29 年度 工事

成果指標	実績値	見込み値	目標値			目標値 (H22～24)
			平成 20 年度	平成 21 年度	平成 22 年度	
路線整備率(整備済み延長 (m)/路線延長(m)) (%)	—	—	—	—	—	—
事業費 (千円)	当初予算額(千円)		計画額(千円)			計画額合計 (H22～24)
	平成 21 年度		平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度	
	5,700		5,700	6,650	17,000	

*のついた用語は用語解説をご参照ください。

02 防災・景観・福祉に配慮した計画的なみちづくりの推進

■都市計画道路整備検討事業 【事業No.05040201】	担当部課係名	都市建設部	都市計画調整担当	ダイヤル	237-5834

事業概要

●本市の都市計画道路整備計画は、高度経済成長期の人口増加や経済成長に伴う交通量の増大などを背景に、その多くを定めてきた。しかし、近年、人口減少や少子高齢化の進展など都市を取り巻く社会経済状況の大きな変化や、現状のまま推移すると、全ての都市計画道路を整備するためには相当の年数を要すると見込まれる事などから、都市計画道路の位置づけや機能を再確認するなかで、都市計画道路整備の見直しを行い、効率的・効果的な都市計画道路の整備を図る。

現況と課題

●都市計画道路は、都市の将来像を実現するために長期的な視点からその必要性が位置づけられている一方、計画区域内では、長期に渡り建築規制が課せられていることから、この対応に向け実態に則した見直しが必要となっている。見直しにあたっては、今後の社会経済状況予測を踏まえ、その内容や妥当性について理論的且つ技術的な検討を行い、市民の合意形成を図る中で、実施していく必要がある。

今後の事業展開

●甲府市の都市計画道路の多くは、右肩上がりの社会経済状況を前提に計画されているが、計画決定から長期間を経過する間に、都市を取り巻く社会状況や人々の価値観が大きく変化している中で、本年度より都市計画道路の見直しを図ることとした。本年度より5カ年をかけて見直し、検討委員会の立上げ・実施、県及び近隣自治体との協議、市民との合意形成に向けての住民説明会・パブリックコメントの実施などを経て、見直し路線の選定を行う。

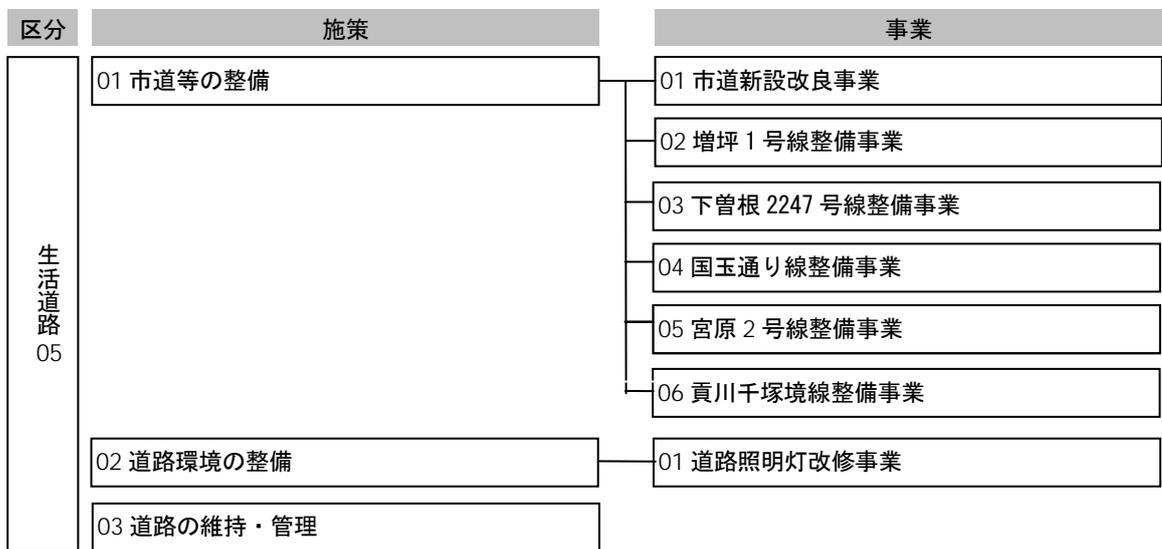
成果指標	実績値	見込み値	目標値			目標値 (H22~24)
	平成 20 年度	平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度	
見直し路線の選定(回)	—	—	—	—	1	1
事業費 (千円)	当初予算額(千円)		計画額(千円)			計画額合計 (H22~24)
	平成 21 年度		平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度	
	0		4,565	5,400	300	

5 生活道路

施策の基本的考え方

- 地域の利便性を図るために道路整備を推進するとともに、交通安全や防災上から狭小道路の拡幅整備に努めます。
- バリアフリー化*・植栽・電線類の地中化*を推進し、人にやさしい道づくりに努めます。
- 市道の適切な維持補修、道路工事の適切な施工管理の推進、不法占拠の是正推進や里道等の適切な管理に努めます。

施策・事業の体系



01 市道等の整備

■市道新設改良事業 【事業No.05050101】	担当部課係名	都市建設部	都市整備課	ダイヤル	223-7055
			工事係		

事業概要

- 生活道路（市道）を整備し、地域環境の改善や交通の安全性及び利便性の向上を図る。

現況と課題

- 限られた予算内で、住民要望と事業効率の整合を図り、施工路線を選定しなければならない。
- 市街地の路線は、補償費が大きく迅速な事業進捗は困難である。
- 費用対効果等を視野に部分改良を行い、安全性や利便性の向上を図る。

今後の事業展開

- 市民や地域から出された要望路線の中から、部内で十分な検討を行い、緊急度や費用対効果の高い路線を選択し、迅速な施工を行う。

成果指標	実績値	見込み値	目標値			目標値 (H22~24)
			平成 20 年度	平成 21 年度	平成 22 年度	
市道改良率 (%)	66.36	66.44	66.52	66.66	66.80	66.80
事業費 (千円)	当初予算額(千円)		計画額(千円)			計画額合計 (H22~24)
	平成 21 年度		平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度	
	39,300		33,803	64,464	64,464	

■増坪 1 号線整備事業 【事業No.05050102】	担当部課係名	都市建設部	都市整備課	ダイヤル	223-7055
			工事係		

事業概要

- 本路線は、甲府市東南部における幹線道路であり、市立甲府病院や小瀬スポーツ公園に集中する交通量を、国道 20 号と市道寺前線に分散させ、地域の交通流の円滑化や交通利便性の向上を図る。
- 整備延長 L=1,600m、幅員 W=16.0m

現況と課題

- 相続等の問題により、一部の用地取得が困難な状況にある。

今後の事業展開

- 平成 24 年度の事業完成に向け、計画的な事業推進を図っている。特に事業評価検討委員会の評価を踏まえ、未買収の用地取得に努めると共に、上町交差点から市道 618 号線までの早期供用開始を図り、投資効果を高めていく。

成果指標	実績値	見込み値	目標値			目標値 (H22~24)
			平成 20 年度	平成 21 年度	平成 22 年度	
路線整備率 (%)	27.5	31.9	36.9	49.4	100	100
事業費 (千円)	当初予算額(千円)		計画額(千円)			計画額合計 (H22~24)
	平成 21 年度		平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度	
	100,000		169,000	270,000	72,600	

■下曾根 2247 号線整備事業 【事業No.05050103】	担当部課係名	都市建設部	都市整備課	ダイヤル	223-7055
			工事係		

事業概要

- 本路線は、甲府市南部に位置し、国道 358 号線と国道 140 号線を結ぶ市道で、車両交通だけでなく通学路としても重要な路線であることから、歩車道を一体的に整備し、交通安全性・利便性の確保を図る。

現況と課題

- 本路線の中間部にある間門川への橋梁架け替え工事にあたり、県の間門川改修計画と整合を図り施工しているが、通行止めが不可能なため、仮橋設置や限られたスペースでの施工となることから、安全で効率的に作業を進める必要がある。

今後の事業展開

- 県施行の間門川改修事業との整合を図り、計画的に事業推進を図る。

成果指標	実績値	見込み値	目標値			目標値 (H22~24)
			平成 20 年度	平成 21 年度	平成 22 年度	
路面整備率 (%)	49	49	49	100	—	100
事業費 (千円)	当初予算額(千円)		計画額(千円)			計画額合計 (H22~24)
	平成 21 年度		平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度	
	129,000		99,000	54,500	—	

■国玉通り線整備事業 【事業No.05050104】	担当部課係名	都市建設部	都市整備課	ダイヤル	223-7055
			工事係		

事業概要

- 本路線は、都市計画街路和戸町竜王線と市道上阿原寿線を結ぶ道路で、東部地域の交通環境の改善と利便性の向上を目的に推進する。

現況と課題

- 地権者の同意が得られず事業を一時中止、H18 年度に事業を再開したが、当初事業開始時の説明と異なり土地の単価が大幅に下落したために理解が得られず、残り地権者との交渉が難航している。

今後の事業展開

- 粘り強く用地交渉に当たる。

成果指標	実績値	見込み値	目標値			目標値 (H22~24)
			平成 20 年度	平成 21 年度	平成 22 年度	
路面整備率 (%)	38.8	38.8	38.8	40.0	100	100
事業費 (千円)	当初予算額(千円)		計画額(千円)			計画額合計 (H22~24)
	平成 21 年度		平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度	
	21,000		14,400	50,000	150,000	

*のついた用語は用語解説をご参照ください。

■宮原2号線整備事業 【事業No.05050105】	担当部課係名	都市建設部	都市整備課	ダイヤル	223-7055
			工事係		

事業概要

- 本路線は、主要地方道甲府中央右左口線と国母工業団地を結ぶ幹線道路として整備し、地域内道路の渋滞解消、地域の有効な土地利用の促進及び交通利便性の向上を図る。

現況と課題

- 河川管理者及び交通管理者と協議を行った結果、橋梁交差点部において、用地の追加買収が生じたため、河川の西側工業団地内の地権者への説明が必要となった。

今後の事業展開

- 平成24年度の事業完成に向け、計画的な整備を推進する。

成果指標	実績値	見込み値	目標値			目標値 (H22~24)
			平成20年度	平成21年度	平成22年度	
路面整備率 (%)	—	0	15.0	15.0	100	100
事業費 (千円)	当初予算額(千円)		計画額(千円)			計画額合計 (H22~24)
	平成21年度		平成22年度	平成23年度	平成24年度	
	19,850		105,000	150,000	160,000	

■貢川千塚境線整備事業 【事業No.05050106】	担当部課係名	都市建設部	都市整備課	ダイヤル	223-7055
			工事係		

事業概要

- 本路線周辺は学校施設が多く歩行者の安全性を確保するために、県道中下條甲府線との交差点部分の整備を行い、歩行者の安全性の向上と渋滞解消を図る。

現況と課題

- 県道との交差点部分のため、山梨県及び交通管理者と綿密に協議し詳細設計を行う必要がある。

今後の事業展開

- 次年度の用地買収に向けて、地元及び地権者への事業説明等を適切な時期に行い計画的な事業推進を図る

成果指標	実績値	見込み値	目標値			目標値 (H22~24)
			平成20年度	平成21年度	平成22年度	
路面整備率 (%)	—	—	0	0	100	100
事業費 (千円)	当初予算額(千円)		計画額(千円)			計画額合計 (H22~24)
	平成21年度		平成22年度	平成23年度	平成24年度	
	—		4,850	63,572	29,000	

02 道路環境の整備

■道路照明灯改修事業（省エネ・グリーン化 推進事業【事業No.05050201】	担当部課係名 都市建設部	道路河川課	ダイヤル 237-5843
		道路係	

事業概要

- 省エネ化を目的に、甲府市が管理する道路照明灯を水銀灯からLED灯への改修を行うことにより、消費電力を大幅に抑え、温室効果ガスの効果的な削減に取り組む。

現況と課題

- LED灯照明設備の価格が高価であり、年次的改修工事に伴う継続的な財源の確保。

今後の事業展開

- 既設道路照明灯の老朽化に伴った改修計画の構築を行い、同時に、事業推進による温室効果ガスの削減効果を検証するなかで、計画的・効率的に事業を推進する。

成果指標	実績値	見込み値	目標値			目標値 (H22~24)
	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	
CO2削減効果 (t/年)	—	—	0	7.58	—	7.58
事業費 (千円)	当初予算額(千円)		計画額(千円)			計画額合計 (H22~24)
	平成21年度		平成22年度	平成23年度	平成24年度	
	—		2,000	24,000	—	

6 地籍調査

施策の基本的考え方

- 地権者及び推進委員等の理解と協力を深め、調査体制の強化に努めます。
- 調査結果を生きた情報として幅広い活用に努めます。

施策・事業の体系

区分	施策	事業
地籍調査 06	01 事業の推進	01 地籍調査事業
	02 調査結果の利活用	

01 事業の推進

■地籍調査事業 【事業No.05060101】	担当部課係名 都市建設部	地籍調査課	ダイヤル 223-6103
		地籍調査係	

事業概要

- 一筆ごとの土地について、その所有者、地番、地目の調査並びに境界及び地積に関する測量を行い、地籍の明確化を図る。
- 調査の成果は、個人の取引から公的機関による地域の整備まで、土地に関するあらゆる行為のための基礎データとなる。

現況と課題

- 市街地域に入り土地の権利関係等、地権者間の複雑な問題が多く、これらの問題解決に時間を要する。

今後の事業展開

- 市民からの早期実施の要望が高く、また災害復旧等を行う場合にも、土地データとして必要である。このことから、事業計画に基づき、外部委託の更なる活用を踏まえ、迅速かつ的確な事業進捗を図る。

成果指標	実績値	見込み値	目標値			目標値 (H22~24)
	平成 20 年度	平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度	
実施計画調査面積に基づく調査率 (実施面積/実施計画調査面積)	41.37	42.15	42.79	43.40	43.98	43.98
事業費 (千円)	当初予算額(千円)		計画額(千円)			計画額合計 (H22~24)
	平成 21 年度		平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度	
	68,771		73,133	65,383	68,607	

7 地域情報化の推進

施策の基本的考え方

- 地域情報化計画*に基づき、情報通信技術（ICT）*を活用した簡素で効率的な行政運営を図るとともに、市民の視点に立った、質の高いサービスを提供します。
また、ICTの利活用を通じて地域の持続的な発展に寄与します。

施策・事業の体系

区分	施策	事業
地域情報化の推進 07	01 電子自治体の推進	01 電子自治体推進事業

01 電子自治体の推進

電子自治体推進事業 【事業No.05070101】	担当部課係名	企画部	情報政策課	ダイヤルイン	237-5214
			情報政策係・情報管理係		

事業概要

- 地域情報化計画に基づき、情報通信技術（ICT）を活用した簡素で効率的な行政運営を図るとともに、市民の立場に立った質の高いサービスを提供していく。特に電子自治体*の構築を通じて、庁内においては、個別システム完成度を高めるばかりでなく、すべてのシステムにおける全体最適化を進めるとともに、地域全体として、コミュニケーション基盤の形成や地域産業の情報化の推進を目指す。

現況と課題

- こうふ DO 計画では、平成 22 年 4 月に福祉システムの稼働をもって、決算統計システムを除き、全てのシステムが完成することから、さらなる安定運用に向けた検証を行っていく。また、市民への情報発信基盤の整備や市民の利便性の向上に向けた方策について、検討している。

今後の事業展開

- こうふ DO 計画におけるシステムの利用が開始される中、今後は、システム内に格納されているデータの利活用について検討していく。また、社会情勢の変化に対応した、市民の暮らしに役立つ、利便性の高い情報基盤を構築していく。

成果指標	実績値		見込み値			目標値			目標値 (H22~24)
	平成 20 年度	平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度	
①「こうふ DO 計画」の構築・推進									
②地域情報化計画の策定(2010~2012)	① 72	① 87	① 100	① 100	① 100	① 100	① 100	① 100	① 100
	② 15	② 100	② 100	② 100	② 100	② 100	② 100	② 100	② 100
事業費 (千円)	当初予算額(千円)		計画額(千円)			計画額合計 (H22~24)			
	平成 21 年度		平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度				
	13,731		8,028	10,222	10,222	28,472			

*のついた用語は用語解説をご参照ください。